

子ども・子育て会議のこれまでの経過と今後の各回プログラム（案）

第1回 子ども・子育て会議（令和5年5月31日(水) 開催）

- ・乳幼児部会・学齢部会に分かれて、子ども・子育てに関してそれぞれの立場から関心のあることや心配なことなど自由に意見交換を行った。

第2回 子ども・子育て会議（令和5年8月3日(木) 開催）

- ・各部会における議論のテーマ(案)に基づき、テーマに関する現状や課題認識について意見交換を行った。

乳幼児部会での主な意見・課題認識

(1) 療育の支援充実について

- ・療育の量が足りない。人と場所などの体制づくりが必要。
- ・心理士などの専門的知識を持った人材が足りない。ちょっとした相談ができるサポート体制やWEBの活用などで、専門員が子どもを見る仕組みが必要。
- ・療育における送迎の負担が大きい。
- ・適切な量の確保、認定までの期間短縮や登録の仕組みが必要。など

(2) 一時預かりの利用向上・DXの取組みについて

- ・出産後の特定に時期に利用が集中、一時ではなく一定期間の利用がよい。
- ・空き枠の確認や予約がアナログ的、各施設の一覧がない。
- ・一時預かりの居宅派遣型などがあるとよい。など

(3) 小1の壁などの就学時における不安解消について

- ・学童クラブの量を増やすことがまず必要。
- ・各保育園での取組の情報共有があるとよい。など

学齢部会での主な意見・課題認識

(1) 子どもの意見聴取の方法について

- ・子ども自身の率直な意見をどのように引き出すかが重要。その環境づくりが課題。
- ・質問紙法（量を確保できる）とインタビュー（本音を引き出せる）の二段階などで、量と質を掛け合わせることが重要。など

(2) 子どもの居場所づくりについて

- ・子どもたちの居場所や集まる場所を増やすことがまず必要。
- ・子どものニーズの多様化、人や場所の確保の困難さが課題。
- ・町会や地域の人材の活用を検討も必要。
- ・居場所を広く捉えて、いかに多く作り出すことができるかが重要。など

(3) ヤングケアラーへの対策について

- ・ヤングケアラーの見定めやどこまで介入するかが困難。学校以外における対策の主体（誰が）が課題。
- ・学習や生活、家庭環境などで“困り感”を抱える子どもへの対応が必要。
- ・子どもの適切な環境をつくる大人への指導や教育を組み込むことが必要。など

第3回 子ども・子育て会議（令和5年10月18日(水)）

- 「すみだ子ども・子育て応援プログラム」について報告するとともに、ニーズ調査の回収状況について報告する。
- 部会では、計画策定に向けた子ども・子育てに関わる課題の洗い出しと意見交換を行う。

全体

【説明・報告事項】

- ニーズ調査の回収状況について
- 子ども・子育て応援プログラムについて

部会

【検討事項・議題】

- 第2回で議論したテーマ以外の課題として、『すみだ子ども・子育て応援プログラムに載っていない課題』や『文化・芸術・スポーツの視点』などから意見を出していただく。
- ※具体的な議論のテーマ(案)は、別紙（資料4）を参照

第4回 子ども・子育て会議（令和6年1月25日(木) 開催予定）

- 第3回までの部会の意見等を踏まえた令和5年度子ども・子育て会議の答申の骨子（素案）について共有・意見交換を行う。
- また、令和6年度の取組（子どもの意見聴取の取組など）について意見交換を行う。

全体

【説明・報告事項】

- 答申書（素案）
- 令和6年度の取組などについて（予定）

【検討事項・議題】

- 答申書（素案）について
- 令和6年度の取組（子どもの意見聴取の取組など）について

第5回 子ども・子育て会議（令和6年3月27日(水) 開催予定）

全体

- これまでの意見を踏まえた答申書（案）について確認 ➡承諾を得て以降区長へ答申
- ニーズ調査の結果の報告と確認
- 次年度（令和6年度）の計画策定に関する議題等について共有・確認